

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 S A L A		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12件	(回答者数) 5件
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人一人の特性や発達段階、日々の様子を丁寧に把握し、個別支援計画に反映させています。	保護者との面談や日々の連絡を通して、ご家庭での様子や困りごとを共有しながら事業所と家庭が連携した支援を大切にしています。活動内容やスケジュールについても、無理のないペースで安心して取り組めるよう工夫しています。	今後は、より具体的でわかりやすい支援目標の設定や、支援内容の共有をさらに充実させていきます。また、保護者との面談や情報共有の機会を増やし、ご家庭とより密に連携しながら、利用者の成長を支えていけるよう努めていきます。
2	日々の消毒や清掃を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境づくりを行っています。	手指消毒や衛生管理についても職員が意識して取り組み安全で清潔な環境を維持しています。	引き続き衛生管理を徹底するとともに、季節や感染症の状況に応じた対策を行っています。
3	すてむほっくすのプログラミング学習などの活動を通して、楽しみながら考える力や想像力を育てることを大切にしています。	一人一人の理解度やペースに合わせて取り組めるよう支援し、成功体験を積み重ねられるよう関わっています。また、活動を通して協調性や集中力、達成感が得られるよう、環境調整やスケジュールを工夫しています。	今後は、利用者の興味や発達段階に応じ、活動内容の幅を広げていきます。また、活動の成果や取り組みの様子を保護者にもわかりやすく伝え、家庭でも共有できるような工夫を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	利用者一人一人に合わせた個別支援や事業所内での活動を大切にしているため、外部施設との交流が限られている状況があります。また、利用者が安心して過ごせる環境づくりを優先する中で、外部との関わりの機会が少なくなっている面もあります。	利用者の特性や安全に配慮しながら、無理のない範囲で地域の児童館や感性機関との交流の機会を検討していきます。小規模な関わりから段階的に取り入れることで、地域とのつながりを広げていけるよう取り組んでいきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等、保護者同士の交流の機会や、保護者が参加できる研修の機会などを設けていない。	現在は個別面談や日々の連絡を中心に、保護者との一对一の関わりを大切にしている為、保護者同士の交流や集団での研修機会の提供が十分ではない状況があります。また、保護者の方のそれぞれの生活スタイルに配慮する中で、全体で集まる機会を設けることが難しい面もあります。	今後は保護者のご負担にならない形で、希望制の交流機会や情報共有の場の設定を検討していきます。また、資料の配布やオンライン等も活用しながら、支援に役立つ情報を提供できる機会を増やしていきたいと考えています。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業所運営がなされていない。	現在は、利用者が安心して過ごせる環境の維持や、日々の支援の充実を優先しているため、地域住民を招いた行事や地域への発信の機会十分ではない状況があります。	今後は、事業所の活動内容を地域に知っていただけるよう、無理のない形で情報発信や交流の機会を検討していきます。利用者の安全を最優先にしながら、段階的に地域とのつながりを広げていけるよう取り組んでいきます。